

リアルに出会う機会の意識的な創造

香川県知事

池田 豊人



エンパシーで多文化共生社会を

劇作家・演出家

平田 オリザ

1962年生まれ。劇作家・演出家・劇団「青年団」主宰。
1995年に第39回岸田國士戯曲賞を受賞した「東京ノート」などが代表作。
2010年には四国学院大学学長特別補佐・客員教授に就任（現在は客員教授）。四国学院大学アートマネジメント公開講座や、小豆島中学校や高松北中学校の演劇ワークショップなど、香川県内の講演会での講師を務めている。
2021年から、芸術文化観光専門職大学の初代学長に就任している。

知事対談 平田オリザ × 池田豊人

アートの力で絆を結ぶ香川県

知事 劇作家であり、演出家である平田オリザさんは、劇団「青年団」を主宰し、芸術文化観光専門職大学の初代学長のほか、日本演劇学会理事など、さまざまな重責を担っておられます。そのお忙しい中、香川県においては四国学院大学で演劇の演出や公開講座の講師を務めるなど、文化向上にもご尽力いただき感謝しております。

平田 四国学院大学の学長は大学時代の先輩にあたります。そのご縁で依頼を受け、中国初の演劇コースを作るための制度設計から行いました。私は専門コースとしての演劇ではなく一般教養としての演劇を考えているとお話をしたところ、「そこそがお願いしたいこと」という答えが返ってきました。

知事 平田さんは兵庫県の豊岡市へ移住されましたが、これも前市長の中貝宗治さんのご縁だと伺いました。

平田 中貝前市長は元々演劇に造詣が深い方ですが、県議会議員時代に神戸の震災を経験し、演劇やアートが人々の心を救ったというのを目の当たりにしました。その力を理解できるお一人です。

知事 香川県も歴史的にアートの力を信じる県です。以前、栗林公園の中にあった高松美術館（高松市美術館）は、終戦4年後に人々が力

を出し合って完成しました。焼け野原で、心を豊かにしたいという渴望のようなものがあつたのでしょうか。

平田 コロナ禍においても同様で、ある人にとっては演劇が命の次に大切であったり、絵を見ることで心が落ち着いたり、音楽を聴くことで励まされたり、それぞれが文化の価値を再認識したことと思います。これは欧米では当たり前のことで、戦争で国境線が変わったり言語が奪われたりするような国では特に、自国の文化に対する強い意識を持っています。同時に他国の文化を理解する教育も必要とされてきました。演劇を使ったコミュニケーション教育にはいろんな利点があるのですが、一番は他者理解や異文化理解です。最近の教育では、これをエンパシーと言います。エンパシーとは異なる価値観や文化的背景を持った人を理解しようとする技術などのこと。シンパシーとは違って、同意はしなくても、理解に努めるということです。日本人は分かり合うことがコミュニケーションの最終目標ですが、宗教が違えば分かり合うことは不可能に近い。それでも、分かり合えない者同士が上手に共生して社会を構成していかなければなりません。日本は今後、多文化共生社会にならざるをえないでしょう。そうすると、教育でエンパシーを身に付ける必要があります。

知事 演劇を通じてのコミュニケーション教育を香川県では中学校で行っていたと思いますが、香川の中学生と接していかがでしょうか。

平田 素直で良い子たちばかりです。でも、のんびりしていて、おとなしい子が多いですね。特に島の子どもたちは保育園から同じ顔ぶれで育っていますから、役割分担が固定化されています。ところが、社会に出れば役割は流動化します。それに対応できないという弱点を秘めています。香川の文化や気質は大好きなので捨てないでほしいのですが、それだけでは持ちこたえられません。一体になるのではなく、バラバラのまま多様性を力にしていける協働性も大切です。

知事 相手を理解し共存する社会と、デジタル社会との両立は難しいとも感じています。デジタルの負の部分の補う方法として、リアルに出会う機会を意識的に創造しなければと考えられているのですが。

平田 アートを利用して外出のきっかけを作れるのが公の強みですよ。アートは誘客につながります。もちろん観光やまちづくりも同じです。豊岡の演劇祭も瀬戸内国際芸術祭もそうですが、アートはトリガー※なんです。買い物だけだと通販で済ませてしまう。しかし、芸術祭の帰りにこぞってお土産を買うように、アートは消費を刺激します。そういう意味でもアートの持つ役割は大きいですね。トリガーに引かれた一人がいれば、家族を引っばって来ることも多いですよ。アートは家族の絆も深めますね。家族と言えば、この12月には四国学院大学で演劇の公演があります。振り込め詐欺を題材にしたコメディイなので、ご家族でぜひおいでいただきたい。先の話では瀬戸内国際芸術祭と豊岡演劇祭の連携を願っています。2025年には大阪・関西万博もあります。関西圏と香川県は海でつながっていますので、ぜひ連携していきましょう。

知事 四国学院大学をはじめ香川県にご縁をいただきました平田先生とは、今後とも強い絆を願っております。本日はどうもありがとうございました。

※統などの引き金が転じて、物事のきっかけ、誘因などの意味